



英知
誠実
健康

学校だより

若 鷹

尾張旭市立旭中学校

平成27年度 9月号

「旭中」のすべてが表れていた体育大会

校長 水野 茂

秋雨前線の影響で、開催が心配された体育大会。17日の夜半まで降り続いた雨に、「だめかな」とあきらめかけましたが、教室に吊るされた「てるてる坊主」が願いを叶えてくれたのか、一日延期した18日（金）に無事開催することができました。その裏に、生徒や先生たちはもちろん、多くの保護者の皆さんの協力があったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

早朝、グラウンドを見ると、思ったほど水たまりが多くなく、「できる」と確信。前日の夕方、「水取り（グラウンド整備）」への協力をメールでお願いしてありましたが、どれだけの生徒が集まってくれるだろうかと心配もしていました。しかし、その心配を余所に朝早くから驚くほど多くの生徒たち（約150人）が集まり、グラウンドに浮いた水を次々と取ってくれました。予定通りの時刻に開催できたことは、体育大会のために自分ができることを見つけて動いた大勢の生徒たちと、お弁当を早目に用意していただいた保護者の皆さんによるところが本当に大きかったです。



水をとる生徒たち

「応援の旭中」。これは学校だよりの7月号に載せた部活動でのことですが、今回は体育大会の中で「応援の旭中」を見ました。クラスの選手への全力の応援。応援される選手の全力の姿。その姿に声を枯らす応援。先生たちの声援。応援される者、応援する者、そしてその光景を目にした者が心打たれる瞬間がいたるところにありました。「勝ち負けがすべてではない」と開会式で話しましたが、勝ち負けを超えたところで感じ得たものがたくさんあったことが、生徒たちの表情から伝わってきました。

生徒たちが「気づいて動く」姿は、見えないところでたくさんあったことでしょう。素敵な「仲間の応援」も、多くの場面であったことでしょう。そして保護者の皆さんの協力。自分が目にしたのはきっと一部だったと思います。その一部からだけでも、「旭中」のすべてが表れていた体育大会だったと思います。

3年生の姿

体育大会を通して、3年生があるべき姿を示してくれました。生徒会や委員会での仕事は言うまでもありません。体育大会を成功させようとする個人の姿は随所で光っていました。素敵だったのは、学年としての姿。学年競遊「全員リレー」において、各クラスが白熱する展開の中、全員がマナーを意識した応援（フィールド内での座っての応援）ができていたこと。順位に関わらず、互いのクラスの健闘を讃える大きな拍手がおこったこと。そしてクラス全員での歓喜。縦割りグループの得点はないのに、1・2年生の同じクラスを応援する声が上がっていたことなど、そうした3年生の全体の姿に、「最高学年」を感じました。卒業までの残りの5か月の間で、3年生が自らの姿で1・2年生にあるべき姿を伝えていくことを期待しています。語り継がれる3年生に。



文化発表会合唱の部 参観について

毎年、文化発表会の合唱の部に多くの保護者の皆様が文化会館にみえます。しかし、近年、生徒数の増加で保護者席を十分にご用意できない状況が続いています。そこで今年度は、隣の「あさひのホール」に映像と歌声を流し、より多くの保護者の皆様に視聴していただけるよう準備を進めています。